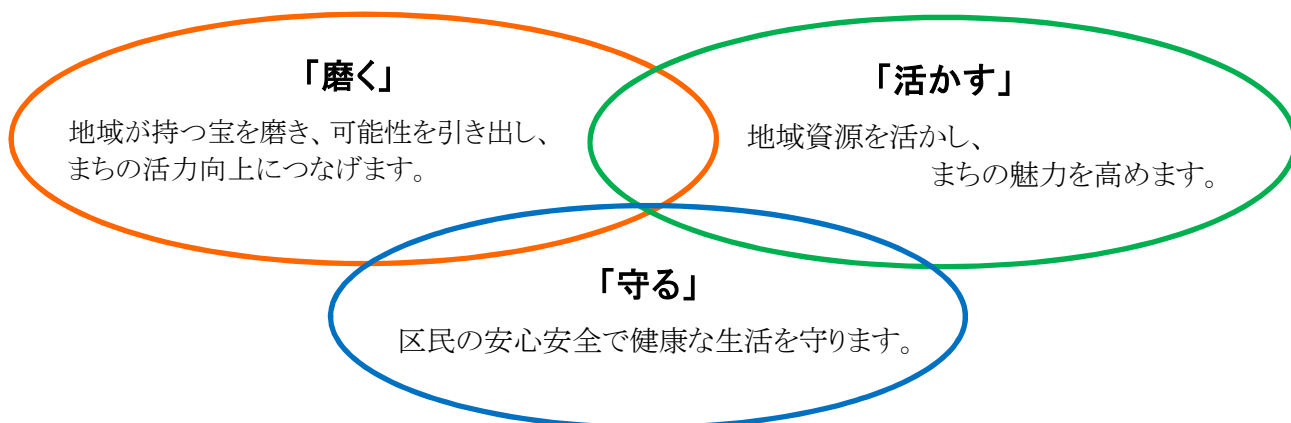


令和3年度 特色ある区づくり予算 概要

| 区分 | 概要 | 予算枠 (千円) |
|----------------|--|--------------------|
| 区役所企画事業 | <p>○区独自の課題解決に向けた取り組みや、区の伝統・文化など区が持つ魅力・特性を活かした取り組みについて、「磨く」「活かす」「守る」の3つの柱に基づき事業を検討</p> <p>○事業の構築にあたり、区自治協議会各部会から意見・提案を聴取</p> <p>【令和3年度区役所企画事業】 新規：2事業 継続：12事業 合計：14事業</p> <p>詳細は、別紙「事業一覧」を参照</p> | 24,000 |
| 区自治協議会 提案事業 | <p>【各部会提案事業】</p> <p>○現在各部会で検討中の令和2年度に取り組む事業</p> <p>○今後、取り組みの内容に応じた事業名を決定 (例：○○プロジェクト)</p> <p>○予算内訳は、概ね各部会1,000千円を予定</p> <hr/> <p>【地域課題解決サポートプロジェクト】</p> <p>○地域カルテを活用した中学校区単位でのワークショップ結果を踏まえ、地域の課題解決や、コミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援する。</p> <p>○対象は、区内8コミ協(各コミ協より事業提案)</p> <p>○予算内訳は、1コミ協上限250千円とする。</p> | 3,000 2,000 |

合計 29,000千円

令和3年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業) 事業一覧



1. 令和3年度区役所企画事業

| 視点 | No. | 区分 | 事業名 | 開始年度 | 担当課 | 事業区分※ | 予算額(千円) |
|-----|-----|----|-----------------------|------|-------|-------|---------------|
| 磨く | 1 | 拡充 | 「農」に親しむ | H30 | 産業振興課 | ② | 2,470 |
| | 2 | 継続 | 地域ブランド「亀田縞」の販路拡大 | R2 | 産業振興課 | ② | 2,000 |
| | 3 | 継続 | 文化芸術の創造・発信 | H24 | 産業振興課 | ② | 2,250 |
| 活かす | 4 | 拡充 | 地域商業活性化支援 | R1 | 産業振興課 | ① | 2,500 |
| | 5 | 継続 | 江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー | R3 | 産業振興課 | ② | 1,400 |
| | 6 | 新規 | 北方文化博物館を活用した文化発信事業 | R3 | 産業振興課 | ② | 1,700 |
| | 7 | 継続 | (仮称)小阿賀野川フィッシング大会 | R2 | 建設課 | ③ | 200 |
| | 8 | 継続 | いい汗 いい食 江南健幸ライド | H26 | 建設課 | ② | 1,500 |
| | 9 | 継続 | 江南区未来づくりプロジェクト | H28 | 建設課 | ① | 900 |
| | 10 | 新規 | 「江南区をPR」魅力発信プロジェクト | R3 | 地域総務課 | ② | 1,200 |
| | 11 | 継続 | みんなで語り、考える 使いやすい公共交通 | H29 | 地域総務課 | ① | 700 |
| 守る | 12 | 継続 | 江南区安心・安全な地域づくりの推進 | H28 | 地域総務課 | ⑤ | 2,700 |
| | 13 | 拡充 | 江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 | H25 | 健康福祉課 | ④ | 3,490 |
| | 14 | 拡充 | 地域で見守り応援事業～見守る目 見守る心～ | R1 | 健康福祉課 | ① | 990 |
| | | | | | | 計 | 24,000 |

【※事業区分】

- ① 区独自の課題解決に向けた取組
- ② 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組
- ③ 区の自然・風土を活かした取組
- ④ 区民との協働による取組
- ⑤ 区民との協働を目指した取組

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 |
|-----|------------------|----|---------------------------|---|--|-------------|---|
| 1 | 「農」に親しむ | 拡充 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | 市街地周辺に農地が近接し、豊かな農産物を身近に感じることができる江南区の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る。 | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江南区親善大使を活用しながら「農」に親しむ機会を提供。 ・おいしいフォトコンテスト@江南区 ・区内直売所スタンプラリー ・江南区の「農」を紹介する映像制作 ・若手農業者グループとの連携事業 ・収穫・加工体験の実施など <p>【取組みにより得られた効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南区親善大使を活用したおいしいフォトコンテストや収穫・加工体験等の実施により、農業をさらに身近に感じる機会を創出することができた。 ・地元の特産品を活用した若手農業者グループとの企画や映像の制作、発信により、消費者の生産者への理解を深め、距離を近づけることができた。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの区民から「農」を身近に感じてもらう企画に参加してもらうため、更なる発信力の強化が急務。 ・これまで以上に市民グループ等との連携を進めるため、地域、商工業者、市民グループ等、多様な主体に呼びかけた企画、商品開発とするとともに、その成果の発信方法に工夫が必要。 | 2,470 | <ul style="list-style-type: none"> ○梅まつりの開催 ○江南区の「農」を紹介する映像制作 ○「#家族 de 栽培チャレンジ(仮)」の実施 ○市民等との連携 (イベント開催、及び区農産物を活用した商品開発) <p>※伝統食については、食生活改善の一環として捉えられるため、食生活改善推進員の活動を尊重しながら、連携していきたい</p> |
| 2 | 地域ブランド「亀田縞」の販路拡大 | 継続 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | 地域ブランドとして確立した亀田縞を、更に地域のアイデンティティへと昇華させ、地域での活用の拡大を目指すことで地場産業の振興と発展につなげる。 | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造及び関連業者による協議会との連携により、知名度向上に向けたイメージ戦略を実施。 ・これまで3か年間の取り組みや成果を総括した結果、令和2年度よりあらためて地域での活用を目的とした協議会を立ち上げ、日常の中での亀田縞PRや学校の総合学習への支援を実施。 <p>【取組みにより得られた成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の著名ブランドや企業との取引が拡大したことにより、亀田縞のブランド力が確立された。 ・区のみならず本市の著名な産品の一つとして、発信力を得ることができた。 ・地域での活用拡大に向けた足掛かりとして、産地に相応しい景観と身近な亀田縞を演出できた。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造・関連業者の更なる拡大。 ・持続可能な亀田縞の製造及び供給体制づくり。 ・これまでの亀田縞の活用にとらわれない、新たな活用方法及びコラボ商品等付加価値へのチャレンジ。 | 2,000 | <ul style="list-style-type: none"> ○産地に相応しい景観づくり ・亀田縞タペストリーなどの作成、設置 ○新たな活用、付加価値づくり ・亀田縞の活用、商品化アイデアの募集と実現化 ○地域アイデンティティの確立 ・区内小学校の亀田縞をテーマとした総合学習への支援 |
| 3 | 文化芸術の創造・発信 | 継続 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | 江南区の文化・芸術の発信・活動拠点である文化会館を活用して、区民の文化・芸術に対する関心を高め、同館の利用を促進する。 | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募型企画提案事業 H30: 林修氏講演会、ゴルゴ松本氏講演会 R1 : 稲川淳二氏口演会(新型コロナウイルス感染症の拡大により中止) R2 : 神谷明氏講演会、金田一秀穂氏講演会 ・国際交流音楽祭(R1) <p>【取組みにより得られた成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに実施した事業では、チケットはほぼ完売状態で、アンケート結果より高い満足度を得られている。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年は講演会が続いているため、区民ニーズをとらえた別分野の企画事業を行い、多様な区民の関心に応えていくことが必要。 | 2,250 | <ul style="list-style-type: none"> ○公募型企画提案事業の実施 <p>※事業化後9年が経過し、文化会館が区民に広く認知されてきたことから、事業規模を縮小して実施</p> |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 |
|-----|--------------------|----|---------------------------|---|--|-------------|---|
| 4 | 地域商業活性化支援 | 拡充 | 区独自の課題解決に向けた取組 | 超高齢化社会において地域コミュニティの要となる地域商業の維持・存続を図りながら、併せて拠点商業地及び三・九の市の賑わいづくり・活性化を推進する。 | <p>【取組内容】</p> <p>拠点商業地である亀田地区において、亀田三・九の市及び本町商店街誘客推進協議会(亀田郷商盛会、商店会連合会、地域、学校等)への参画により賑わいを創出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三・九マルシェの開催 ・まちゼミ参加店スタンプラリー ・七夕イベント ・令和2年度においてはコロナ禍の影響により亀田縞による風鈴まつりのみ実施。 <p>【取組みにより得られた効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画により普段関心のない区民からの参加を得ることができた。 ・普段以上の集客を得ることができた。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント日又は期間のみにぎわう一過性の企画となりがちである。 | 2,500 | <ul style="list-style-type: none"> ○亀田商店街周辺での取り組み(亀田三・九の市及び本町商店街誘客推進協議会) ・三・九の市への支援 ・亀田まちゼミへの支援 ・商店街魅力ある景観づくり事業(風鈴まつり等) ○区全体の商業活性化支援 |
| 5 | 江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー | 継続 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | 固有の文化や伝統を有する5地区で構成される江南区で、それぞれの観光資源を発掘、深掘りを行うとともに、その情報を発信・提案することで集客と関係人口の拡大を図る。 | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の発掘・洗い出し ・祭りやイベントへの2次交通手配 ・まち歩き、観光ツアーの実施 ・フォトコンテスト、映像制作 <ul style="list-style-type: none"> ・区内の魅力発信を目的に全地区の商工団体等による実行委員会を組織 ・区内の「食」の魅力発信として「割烹弁当まつり」と「半額還元キャンペーン」を実施 ・テイクアウトやデリバリーなどの取組み情報を発信 <p>【取組みにより得られた効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次交通手配、ガイド付きバスツアー、まち歩きにより区外市外からの交流人口の増加を図ることができた。 ・VR映像、フォトコン写真等新たな観光資源となる可能性が発掘できた。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業、事業所を対象とした割烹弁当まつり 延べ114事業所、1,261個 1,819,800円 ・半額還元キャンペーン 応募総数 3,865件 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口から関係人口への進化 ・コロナ感染に最大限配慮した企画づくり ・魅力あるコンテンツとしての発信力強化 | 1,400 | <ul style="list-style-type: none"> ○区内の魅力発信事業 ・フォトコンテスト受賞作品の活用 ・イベントへの2次交通支援 ・市民とともに進める地域再発見事業(まち歩き) ・バスツアー <p>※半額還元キャンペーンは「地域商業活性化支援」において、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、国や市全体の取り組み、また業界の状況等を注視したうえで検討する。</p> |
| 6 | 北方文化博物館を活用した文化発信事業 | 新規 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | 国登録有形文化財である県下最大級の豪農の館「北方文化博物館」を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供することで、江南区に対する愛着の向上を図る。 | <p>【事業実施の背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方文化博物館は、1946年に戦後初の私立博物館となった非常に歴史ある博物館であり、貴重で地域に深く根付いた収蔵物も多く有している。 ・このような区を代表する文化施設を発信の場とし、区民に地域の歴史や伝統文化の理解を深めることを目指す文化イベント等を実施する。 ・北方文化博物館に久しく来館していない方や、訪れたことがない区民も多く、この様な方々に貴重な地域文化を知っていただく足掛かりとするため、区民を対象にイベント開催日を入館無料とする。 | 1,700 | <ul style="list-style-type: none"> ○江南区にゆかりのある伝統芸能・文化のイベント等を、北方文化博物館を中心とした沢海地区で開催 ○上記イベントの開催日に、江南区民を対象とした北方文化博物館への無料入館を実施 |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------|-----|---|--|--|-------------|--|----------|--|----|--|----|-----|------|-----|------|-----|----|----|--|----|--|--|-----|-----|----|--|----|--|--|-----|-----|----|----|----|-----|----|---------------|-----|-----|----|----|----|-----|----|--|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----------|----|-----|----|----|----|-----|-----|----|--|-------|---|
| 7 | (仮称)小阿賀野川 フィッシング大会 | 継続 | 区の自然・ 風土を活 かした取 組 | 小阿賀野川など の水辺空間を活用 し、新たな魅力の創 出と交流人口の増 加につなげる。 | <p>【取組内容】 小阿賀野川河川公園内の酒屋広場は、両川コミ協主催のカヌー体験会など、施設を使用した地区の賑わいづくりが進められてきているが、さらに水辺空間を活用するフィッシング大会を地域と協働で行うことで施設利用を促進する。なお、本大会はカヌー体験会と同日開催を想定している。</p> <p>H27年度:小阿賀野川河川公園 酒屋広場整備(県) H29年度:船着き場整備(県) H30年度~:地元コミ協によるカヌー体験会実施</p> <p>【取組みにより得られた成果】 R2年度は両川コミ協主催のカヌー体験会が、新型コロナウイルス感染防止のため中止判断がなされ、同日開催を想定していた第1回目のフィッシングイベントも中止とした。</p> <p>【今後に向けた課題】 フィッシング大会については、参加者が密にならないよう間隔を開けるなど、適切な新型コロナウイルス感染防止策を行い、また、コミ協主催のカヌー体験会へ感染防止策のサポートを行い、同日開催ができるよう努める。</p> | 200 | ○(仮称)小阿賀野川フィッシング大会の開催 ・実施場所:小阿賀野川河川公園 酒屋広場ワンド ・開催予定:令和3年9月第3日曜(地元コミ協主催のカヌー体験会と同日開催を想定) ・大会内容:インストラクターが釣り方やマナーの指導を行うなど、フィッシングを通じて水辺空間の楽しみ方を学びます。 ・参加者数:親子10組程度(カヌー体験会と同規模を想定) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | いい汗 いい食 江 南健幸ライド | 継続 | 区の伝統・ 文化など 区が持つ 魅力や特 性を活か した取組 | 阿賀野川、小阿 賀野川、信濃川な ど、水と緑のネット ワークを形成する 資源を活用し、整 備したサイクリング ロードの利用促進 に取り組むとともに 健康づくりの推進 や交流人口の拡大 を図る。 | <p>【取組内容】 ・9月第2日曜に実施 ・ロングコース40km、ショートコース15km ・区内の休憩スポット3箇所にて地元の食を提供</p> <p>【取組みにより得られた成果】 ・R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。 ・代替事業として、サイクリングロードの路面標示の修繕工事を行う予定。</p> <p>・これまでの取り組み 平成26年度から29年度は「区めぐり自転車交流会」として、平成30年度からは「いい汗 いい食 江南健幸ライド」として開催。 更なる交流人口拡大を目指し、区外からの参加者を増やすことを目的に、平成28年度からコースを見直し、ロングコース・ショートコースを設定した。その結果、区外からの参加者の増加が図られた。</p> <p>○申込実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">申込数</th> <th colspan="2">区内</th> <th colspan="2">区外</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>ロング</th> <th>ショート</th> <th>ロング</th> <th>ショート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>75</td> <td>41</td> <td></td> <td>34</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>102</td> <td>73</td> <td></td> <td>29</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>196</td> <td>45</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>124</td> <td>27</td> <td>ロング・ショートコース設定</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>200</td> <td>72</td> <td>49</td> <td>23</td> <td>128</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>212</td> <td>55</td> <td>43</td> <td>12</td> <td>157</td> <td>127</td> <td>30</td> <td>悪天候により中止</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>211</td> <td>45</td> <td>31</td> <td>14</td> <td>166</td> <td>139</td> <td>27</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後に向けた課題】 募集人数を減らすとともに、開閉会式は間隔を開け、食の提供方法を見直すなど、新型コロナウイルス感染防止策を行う。</p> | 年度 | 申込数 | 区内 | | 区外 | | 備考 | ロング | ショート | ロング | ショート | H26 | 75 | 41 | | 34 | | | H27 | 102 | 73 | | 29 | | | H28 | 196 | 45 | 26 | 19 | 124 | 27 | ロング・ショートコース設定 | H29 | 200 | 72 | 49 | 23 | 128 | 17 | | H30 | 212 | 55 | 43 | 12 | 157 | 127 | 30 | 悪天候により中止 | R1 | 211 | 45 | 31 | 14 | 166 | 139 | 27 | | 1,500 | ○いい汗 いい食 江南健幸ライドの開催 ・健康づくりの推進や交流人口の拡大に向け、今後も事業を継続していく ・規模は同程度とし、適切なルート案内を実施する ・江南区民が気軽に参加できるよう、また、ファミリーが楽しく参加できるような視点で見直しを行う |
| 年度 | 申込数 | 区内 | | 区外 | | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ロング | ショート | ロング | ショート | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | 75 | 41 | | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | 102 | 73 | | 29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 196 | 45 | 26 | 19 | 124 | 27 | ロング・ショートコース設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 200 | 72 | 49 | 23 | 128 | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 212 | 55 | 43 | 12 | 157 | 127 | 30 | 悪天候により中止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1 | 211 | 45 | 31 | 14 | 166 | 139 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 |
|-----|--------------------|----|---------------------------|--|---|-------------|---|
| 9 | 江南区未来づくりプロジェクト | 継続 | 区独自の課題解決に向けた取組 | <p>区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活用するための方策について、「雇用創出」「居住促進」「交通環境」の視点で検討・実践することで、人口減少に歯止めをかける。</p> | <p>【取組内容】 H28:統計データ等を用いた江南区の現状把握・分析 H29:江南区まちづくり協議会の設立、(仮称)江南駅設置に係る需要予測調査 H30:新駅を設置した場合の効果や、その効果を最大限生かすための条件調査 R1:これまで調査・分析した成果をリーフレットのまとめ、区内外へ情報発信 R2:今後の計画的なまちづくりの方向性の整理、区民向けリーフレットの作成</p> <p>【取組により得られた成果】 ・区内の主要団体で構成する江南区まちづくり協議会とともに取り組んだ結果、新たな工業用地の整備(4地区)や、新駅の設置及び質の高い周辺開発の必要性の明確化につながるなど、市の活力向上に向けた江南区のみちづくりが推進された。 ・併せて、リーフレットを配布することで、区の強みや今後のまちづくりについて、広く情報発信することができた。</p> <p>【今後に向けた課題】 ・次回の市街化区域編入を見据え、より区に密着した計画的なまちづくりを推進していく必要がある。</p> | 900 | <p>○R2年度に更新する区づくりの方向性(都市マス区別構想)に基づき、「区づくり都市計画プラン」を作成し、広く周知する。</p> |
| 10 | 「江南区をPR」魅力発信プロジェクト | 新規 | 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組 | <p>区民だけでなく、首都圏などの20歳代の就職活動の学生～子育て世代の若者などをターゲットに江南区の住みやすさや魅力などを発信することで、江南区への移住の促進を目指す。</p> | <p>【事業実施の背景】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、テレワークの推進やオフィスを縮小・移転するなど働き方が見直されているほか、安心して子育てをしたいなど、地方への回帰志向が強まっている。 ・大学では、オンラインによる遠隔授業が中心となり、経済面や孤独感など様々な悩みを抱えていることが各大学の調査で明らかになっている。</p> | 1,200 | <p>○移住情報の発信(首都圏での生活と江南区での生活の比較、江南区での生活イメージなど) ○江南区出身学生への応援(親元を離れた学生へ企業とタイアップした応援物資(江南区の特産品など)の送付) ○江南区親善大使を活用したPR</p> |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------------|-----|----------------|---|--|-------------|----------|-----|---------|-----|------------|-----|------------------|----|---------|----|-------------------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|---|----|----|----|----|-----|--|
| 11 | みんなで語り、考える、使いやすい公共交通 | 継続 | 区独自の課題解決に向けた取組 | <p>江南区は区バスのほか、複数の住民バスが運行していることから更なる連携強化や啓発活動を通じ、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげる。</p> | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区バス乗車体験学習会、バスギャラリーの実施 区バス新車両お披露目会・シニア半わりりゅーとの作成支援 共通回数券の検討、関係者との協議 <p>【取組みにより得られた成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした「区バス乗車体験学習会」や「バスに乗ってアスパークへ行こうキャンペーン」により、将来の公共交通利用に向けた意識啓発が図られた。 <p>区バス乗車体験学習会 開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>亀田西小2年生</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>東曾野木小1・2年生</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>曾野木小2年生、早通小1・2年生</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>亀田東小2年生</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>早通小2年生、東曾野木小2年生、亀田東小2年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>夏休み区バス・カナリア号に乗ってアスパークへ行こうキャンペーン（プール券引換）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区バス</td> <td>70</td> <td>130</td> <td>180</td> <td>148</td> <td>117</td> <td>117</td> <td rowspan="2">未実施</td> </tr> <tr> <td>カナリア号</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>81</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>・亀田駅構内やロータリー、新潟市民病院待合所などにバスの路線図や乗り場案内図を設置し利便性が向上した。</p> <p>・R2区バスの新車両導入に伴い開催したお披露目会では、子どもからお年寄りまで45人がバスと触れ合うことができた。</p> <p>【今後に向けた課題】</p> <p>バスの乗車体験会などで公共交通の便利さを伝えていくとともに、乗り換え時の負担を軽減するなど、より使いやすい公共交通の実現に向けた方策について関係者同士が連携し、取り組むことが必要。</p> | 年度 | 実施校 | H28 | 亀田西小2年生 | H29 | 東曾野木小1・2年生 | H30 | 曾野木小2年生、早通小1・2年生 | R1 | 亀田東小2年生 | R2 | 早通小2年生、東曾野木小2年生、亀田東小2年生 | | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | 区バス | 70 | 130 | 180 | 148 | 117 | 117 | 未実施 | カナリア号 | - | - | 23 | 63 | 81 | 22 | 700 | <ul style="list-style-type: none"> 区バス乗車体験学習会、バスギャラリーの実施 シニア半わりりゅーと作成支援 区バス・住民バス共通回数券の実施 地域の茶の間など高齢者が集まる場所で公共交通の学習会を開催 区バス沿線の施設や事業所などに対し、アンケートを実施 |
| 年度 | 実施校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 亀田西小2年生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 東曾野木小1・2年生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 曾野木小2年生、早通小1・2年生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R1 | 亀田東小2年生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R2 | 早通小2年生、東曾野木小2年生、亀田東小2年生 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区バス | 70 | 130 | 180 | 148 | 117 | 117 | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カナリア号 | - | - | 23 | 63 | 81 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 |
|-----|---------------------|----|---------------|---|--|-------------|---|
| 12 | 江南区安心・安全な地域づくりの推進 | 継続 | 区民との協働を目指した取組 | 三方を川に囲まれ浸水被害や河川の氾濫などが懸念される江南区において、区民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成や地域防災力の強化を図り、安心安全な地域づくりを推進する。 | <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域単位での防災・防犯・交通安全全般にかかる活動支援 ・防災意識の向上に向けた各種イベント等での啓発 ・区内公立6中学校でのジュニアレスキュー隊育成講習会開催 <p>【取組により得られた効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は地域の特性に応じ「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の基で防災・防犯・交通安全にかかる活動が区内8コミ協において実施された。 ・自主防災組織の結成率が年々上昇し、R2.4月現在で84.9%(事業開始時H26:73.4%)となるなど、継続した取組により、若年層や自治会、コミ協等、幅広い世代で防災意識の啓発が図られている。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協と協働で行う資機材の整備を含む活動支援については、事件事故・災害が多様化していることから引き続き対応できる体制が必要であるが、コミ協が整備している資機材リストを作成し、今後必要とする資機材の確認しながら事業の精査検討が必要。 ・全国で様々な災害が発生する中、継続して防災意識や地域防災力の強化を図ることが必要。 ・地域での防災士の認知・活躍が不足している。 | 2,700 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域単位での防災・防犯・交通安全全般にかかる活動支援 ○避難所運営に係る研修会・合同訓練等の実施 ○避難所体制で必要な物品などの整備 ○区内公立6中学校でのジュニアレスキュー隊育成講習会開催(防災士の活用) |
| 13 | 江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 | 拡充 | 区民との協働による取組 | 区民・福祉団体・コミ協・区社協・区役所等が協働することで、区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなですさえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指す。 | <p>(新規)</p> <p>【事業実施の背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸のためには元気な高齢者を増やすことが必要。 ・新型コロナウイルス感染の不安等から閉じこもりがちな高齢者の増加が懸念されており、高齢者の生活実態や支援ニーズを把握し、必要な対策を講じる必要がある。 ・健康講座や茶の間等に参加していない高齢者の実態を把握し、必要な保健指導等を行うことが可能であるため家庭訪問が有効。 ・健康寿命延伸に向け、地域ぐるみでフレイル予防に取り組めるよう「フレイル予防事業」や「茶の間での健康講座」と合わせ「フレイル予防訪問」を実施し、地域全体にフレイル予防に対する機運の醸成を図る。 <p>(継続)</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南区ふれあい・ささえあい交流事業の開催(令和2年度は新型コロナで中止) ・江南区民福祉大会の開催(令和2年度は規模を縮小して開催) ・ふれあい・ささえあい交流事業等での授産品の紹介・販売や「売店はるみどり」の定期開催など <p>【取組により得られた効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナで中止となったが、江南区ふれあい・ささえあい交流事業は幅広い世代が参加・交流している。また、江南区民福祉大会では、障がい者アート展の実施に伴い、講演のテーマを「発達障がい」としたところ、多くの方から申し込みをいただくなど、本事業により、地域福祉活動の広がりが期待できる。 <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念「みんなですさえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現には、引き続き事業の継続が必要。 | 3,490 | <p>(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フレイル予防訪問 <p>(継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共生のまちづくり推進事業(障がい者アート展等)を含めた江南区ふれあい・ささえあい交流事業の開催 ○江南区民福祉大会の開催 ○障がい者施設のネットワークの推進、授産品の魅力向上 ○福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進 ○思春期の子育て体験 |

令和3年度区役所企画事業 事業概要

| No. | 事業名 | 区分 | 事業区分 | 事業目的 | これまでの取組内容と成果、課題など (新規事業は、事業実施の背景) | 事業費 (千円) | R3年度事業内容 |
|-----|---------------------------|----|----------------|--|--|-------------|---|
| 14 | 地域で見守り応援事業 ～見守る目 見守る心～ | 拡充 | 区独自の課題解決に向けた取組 | <p>地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育て応援をしたい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現する。</p> | <p>(新規) 【事業実施の背景】 今後増加見込みである認知機能の低下により徘徊する高齢者等について、現在、症状の予防や理解者の拡大、相談窓口等は整備されているが、行方不明になった状況に対応する制度が不足していると考えられるため、地域への行方不明情報のメール配信、QRコード配付による早期帰宅支援を実施したい。</p> <p>(継続) 【取組内容】 ・地域での子育てを応援したい人へ、こども・子育て応援団バッジを配付 ・地域での子育てを応援したい人や子育て支援者等による交流会を開催 ・「江南区パパノート」の配付 ・「江南区子育て情報アプリ」による江南区内の子育て情報ならびに不審者情報の提供(令和3年度からは子育て情報は「にいがた子育て応援アプリ」、不審者情報については、市民向けメール配信にそれぞれ移行)</p> <p>【効果】 ・令和元年度の江南区民福祉大会において、地域での子育てについて考える機会を提供、8割以上の方より共感いただけた。また、後日開催した交流会では、応援したい方と子育て支援者が地域での子育ての必要性を再確認し、個々の活動に繋げることができた。 ・パパノートを配付することで父親の育児参加を促進するとともに、アプリで子育て情報や不審者情報を速やかに発信した。</p> <p>【今後に向けた課題】 ・地域全体で子育てを「応援する・見守る」機運の醸成には、引き続き事業の継続が必要。</p> | 990 | <p>(新規) ○市民向けメール配信(はいかいシルバーSOS・不審者情報) ○見守りシール伝言板(QRコード)</p> <p>(継続) ○子育て応援団バッジの配付 ○子育て交流会の開催 ○江南区パパノートの配付</p> |